

授業科目(ナンバリング)	介護基礎学 I (DA103) (実践的教育科目)			担当教員	久田 貴幸 (実務経験のある教員)		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	1 年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
<p>専門職として介護福祉を展開する際には、科学的根拠に基づいて、今後予測しうる様々な状況を想定していく能力が必須である。その基礎として、人体の構造や心身機能に関して基本的事項を理解し、移動、睡眠、身じたくや入浴、清潔保持、食事、排泄、終末期等の介護行為に関して心身から両面とらえることができ、安全面での留意点や心理的配慮ができるようになる。</p> <p>本講義では、介護を必要とする人の生活支援を行うため、介護実践の根拠となる人間の心理、人体の構造や機能を理解する学習とすることもねらいとしたい。</p>							①③⑦⑨
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	基礎的な身体やこころのしくみを踏まえ、障害や疾病に起因する背景を説明できる。				・定期試験 ・小テスト	40% 10%	
情報収集、分析力	自分の身体に起こる様々な現象を気付き、その機序を調べ、考察できる。				・定期試験	10%	
コミュニケーション力	人間の諸臓器の解剖・生理を理解し、それぞれの関連性を説明できる。				・定期試験 ・授業への参加	10% 10%	
協働・課題解決力	人間の身体に起こる様々なトラブルについて、その機序を理解し、主な対処方法を説明できる。				・定期試験 ・小テスト	10% 10%	
多様性理解力							
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験の成績を70%とし、筆記試験を行う。 ・小テスト(20%)は、4回実施する予定である。授業内で説明した重要項目について理解度の確認を行う。 ・授業への参加(10%)、授業内で行う個人作業やグループワークへの取り組みを総合的に評価する。 ・小テストの解説及び質問に対するフィードバックは授業中に適宜行う。 							
授業の概要							
<p>福祉現場で介護業務及び相談業務の経験を持つ教員が担当し、グループワークやディスカッション等を活用し、人間の日常生活の基本となる、移動、睡眠、身じたく、入浴、清潔保持、食事、排泄、終末期等に関連する介護技術の根拠となる知識についての理解を深められる授業を展開する。また、ポートフォリオやレスポンス等を活用した双方向型の授業を取り入れていく。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書 : 最新 介護福祉士養成講座 11 『こころとからだのしくみ』 中央法規出版 2022 年</p> <p>参考書 : 適宜紹介する</p> <p>指定図書 : 介護福祉士養成テキスト 『こころとからだのしくみ』 建帛社 2017 年</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>ただ単に、介護技術を提供するだけでは、福祉専門職とはいえない。専門的知識や技術を用いて対象者の状況にあわせた介護を展開していくことが重要である。そのための根拠となる身体の構造や働きや認知機能などを学び、介護過程をはじめとする、福祉実践における支援の基礎をしっかりと身につけて欲しい。</p>							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	<u>こころとからだのしくみⅠ</u> <u>こころのしくみの理解①</u> (人間の基本的欲求と尊厳)	人間の健康について理解し、介護の基本となる基本的な構えについて学ぶ。	復：人間の基本的欲求についてまとめる 復：授業の内容をまとめる
2	<u>こころとからだのしくみⅠ</u> <u>こころのしくみの理解②</u>	人間の欲求や自己概念と尊厳に関して理解する。	予：人間の欲求について調べておく 復：授業の内容をまとめる
3	<u>こころとからだのしくみⅠ</u> <u>こころのしくみの理解③</u>	こころのしくみについて、脳の機能や認知機能など基本的な理解を深める。	予：P24～P32 を熟読しておく。 復：授業の内容をまとめる
4	<u>こころとからだのしくみⅠ</u> <u>こころのしくみの理解④</u>	日常生活を送る上で重要な、学習・記憶、感情・動機づけ、適応などのこころのしくみについて理解を深める。	予：P28～P38 を熟読しておく。 復：授業の内容をまとめる
5	<u>こころとからだのしくみⅠ</u> <u>からだのしくみの理解①</u>	人体の構造と機能の基礎的な知識理解のため、内臓・骨格・筋肉等の名称やその特徴について学ぶ。	予：P42～P49 を熟読しておく。 復：授業の内容をまとめる
6	<u>こころとからだのしくみⅠ</u> <u>からだのしくみの理解②</u>	人体の構造と機能の基礎的な知識理解のため、神経系・感覚器官等の名称やその特徴について学ぶ。	予：P50～P56 を熟読しておく。 復：授業の内容をまとめる
7	<u>こころとからだのしくみⅠ</u> <u>からだのしくみの理解④</u>	人体の構造と機能の基礎的な知識理解のため、呼吸器・循環器等の名称やその特徴について学ぶ。	予：P56～P60 を熟読しておく。 復：授業の内容をまとめる
8	<u>こころとからだのしくみⅠ</u> <u>からだのしくみの理解⑤</u>	人体の構造と機能の基礎的な知識理解のため、消化器・泌尿器等の名称やその特徴について学ぶ。	予：P60～P64 を熟読しておく。 復：授業の内容をまとめる
9	<u>こころとからだのしくみⅠ</u> <u>からだのしくみの理解⑥</u>	人体の構造と機能の基礎的な知識理解のため、筋肉・関節等の名称やその特徴について学ぶ。	予：P65～P72 を熟読しておく。 復：授業の内容をまとめる
10	<u>こころとからだのしくみⅡ</u> <u>移動に関連したこころとからだのしくみ①</u>	人が移動する際の基本的な姿勢やボディーメカニクスを学ぶ。	予：P90～P97 を熟読しておく。 復：授業の内容をまとめておく
11	<u>こころとからだのしくみⅡ</u> <u>移動に関連したこころとからだのしくみ②</u>	移動に関連したこころのしくみとからだのしくみを理解し、自立した生活を送るために重要な要素を学ぶ。	予：P97～P104 を熟読しておく。 復：授業の内容をまとめる
12	<u>こころとからだのしくみⅡ</u> <u>移動に関連したこころとからだのしくみ③</u>	意欲低下や骨折など心身の機能低下が移動に及ぼす影響を学ぶ。	予：P106～P111 を熟読しておく。 復：授業の内容をまとめる
13	<u>こころとからだのしくみⅡ</u> <u>移動に関連したこころとからだのしくみ④</u>	高齢者や障害者の移動に関する能力にについて、専門職が観察すべき点について学ぶ。	予：P112～P115 を熟読しておく。 復：授業の内容をまとめておく
14	<u>こころとからだのしくみⅡ</u> <u>身じたくに関連したこころとからだのしくみ①</u>	基礎知識として、爪、毛髪、口腔等の構造と機能について学び、身じたく行為の生理的な意味や心理的な意味から、セルフケアについて考えていく。	予：自身の身じたくのこだわりについてまとめる 復：要点の整理を行う
15	<u>こころとからだのしくみⅡ</u> <u>身じたくに関連したこころとからだのしくみ②</u>	身じたくに関連して、生活行為としての身じたくについて理解を深める。	予：事前調べ 復：自分で身じたくができなくなる要因について調べる
16	定期試験		